

令和7年度 岐阜県プラスチック資源循環推進懇談会【議事要旨】

- 1 日 時 令和7年6月3日（火）10：00～11：00
- 2 場 所 県庁9階 フロア会議室 907・908会議室
- 3 出席者
田中委員、酒井委員、奥村委員、デュアー貴子委員
- 4 欠席者
宮田委員
- 5 事務局
安藤廃棄物対策課長、牛島資源循環推進監、
中井課長補佐兼資源循環推進係長、宮原主任
- 6 会議の概要（あいさつ、資料説明、意見交換）
- 7 主な意見等

○令和7年度における事業計画について

【委員】

- ・生彩弁当は2万食の販売を予定しているところであり、新たに作成するPRシールにQRコードを印字するなど、環境配慮プラスチックに係るアンケート調査は可能である。

【委員】

- ・バイオプラスチックの普及啓発のためのPRシールはあってもいいと思うが、リサイクルという点では邪魔になってしまう。

【委員】

- ・仰るとおり、PRシールを剥がしてどうリサイクルしていくかという部分も含めて啓発していくべき。

【委員】

- ・国内におけるバイオプラスチックの普及率は低い状況を踏まえ、PRシールを貼ることによる普及啓発をまず進めていくという考え方はあると考える。

【委員】

- ・近年の取組みについて、バイオプラスチックの普及に特化しているのではないかと懸念している。
- ・プラスチックの使用量を減らす、リサイクル素材を使うといった内容も含め普及啓発を行うべき。

【委員】

- ・プラスチックについては、上手な使い方を提案していくというのが本来のあ

るべき姿であるため、バイオプラスチックも大切であるが、リサイクル、リデュースという点も重要であることは変わらないため、全体としてどうバランスを取るか、何かにフォーカスするかの判断は必要。

【事務局】

- ・プラスチックに対して選択肢を増やすことが重要であり、環境配慮型のプラスチックについても、まだ認知度が低く普及が遅れている部分については県がPRする役割を担っていく必要があると考えている。
- ・消費者の方や生産者の方が使用目的に応じて賢く選んでいただき、それぞれの立場で環境配慮という行動をすることが最終的な姿ではないか。

【委員】

- ・例えば、プラスチック全体にわたる環境配慮をまとめたインタビュー動画を作成し、お弁当のQRコードを読み込めば動画が見ることが出来る仕組みを作る、パネル看板にする、又はSNSで配信する等により、広く一般県民への啓発が可能ではないか。

【委員】

- ・いずれにしても、バイオマスプラスチックの容器普及だけでなく、プラスチック業界が取り組む4R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ）についてなど、プラスチック資源循環という観点による普及啓発をしなければ本末転倒になってしまうと思う。

○特別授業について

【委員】

- ・特別授業においては、プラスチックが持つ循環しやすい性質について、正しく取り扱えば循環もできるし、世間で言われているような環境に悪いものではないということを伝えてほしい。

【委員】

- ・先月、大垣桜高等学校にて特別授業を実施させていただいたところだが、世界的にみたプラスチック汚染など、プラスチックが抱える社会問題に向き合う必要があると伝えていくことが大事だと思う。

【委員】

- ・プラスチックやゴミを回収して地元をきれいにする活動を見ることで、捨てられたプラスチックゴミが何十年も残ってしまうことを意識する機会にしてもよいと思う。

○環境配慮型プラスチックのPRについて

【委員】

- ・自分自身、生彩弁当で活用していた容器が環境配慮型容器であることを後で知り、やはり目に見える形で購入者への啓発という視点でPRシールはどうかと思い立ったところ。
- ・生彩弁当の購入者は、環境配慮型容器を使用しているから生彩弁当を選んでいるわけではなく、環境配慮型容器であることにも気づいていないと思う。

【委員】

- ・製造側でも啓発には悩んでいる。「環境に配慮した容器」だと大きく表示することはお客様に喜ばれない場合もある。
- ・バイオプラスチック容器だから売れるということではなく、機能や価格がニーズと合った中でバイオが購入の後押しとなっているのが実態。

【委員】

- ・環境配慮を進めなければならないとわかっていても、昨今のプラスチック容器・包材の高騰により、コストを重視し従来の石油由来のプラスチック材料を使わざるを得ないというのが実態である。

【委員】

- ・アンケートの質問項目については、プラスチックの資源循環を含めた大きな視点で作成してはどうか。

【委員】

- ・プラスチック資源循環に係る解説のほか、アンケートの内容も詰めて、慎重に進めていかないといけないと思う。
- ・インタビュー動画制作の際には、是非委員の方々にもご協力をいただきたい。
- ・動画をベースに啓発パネルも作成すれば、様々なイベント等で活用が可能となると思う。